

令和2年度 家庭教育支援プログラム指導者研修③ 実施報告

実施日：令和2年7月2日（木） 塩谷庁舎
令和2年7月3日（金） 小山庁舎

今回はサテライト方式を採用し、塩谷庁舎と小山庁舎でそれぞれ実施しました。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、「3密」回避対策、受付時の健康チェック及び検温を行い、実施しました。

【午前の研修】

○ 説明「思春期版家庭教育支援プログラムとは」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 社会教育主事 針谷 英子

本県が家庭教育支援の場で活用を進めている家庭教育支援プログラムの思春期版について、開発された経緯やその特徴に関する説明がありました。プログラムの実施にあたっての活用のポイント、実際に活用された県立学校での様子やアンケート結果など具体的な内容を聴くことができ、受講者は理解を深めました。



○ 演習「思春期版家庭教育支援プログラムの体験」

2日) 塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課 副主幹 加々美 仁実

3日) 下都賀教育事務所ふれあい学習課 副主幹 鈴木 正俊

演習では思春期版家庭教育支援プログラム「我が子は思春期真っ只中！～思春期の子育ては戸惑いや悩みの連続です～」と「思春期の子どもとのコミュニケーション」の2つをミックスし、アレンジしたプログラムを体験しました。

教育事務所の担当者から、プログラムを始める前の心構え、アイスブレイクを実施する際のコツや場の和ませ方に始まり、受講者の緊張を解くための言葉かけ、ラベルワークの方法や、進行上の注意点などについて話がありました。受講者はプログラムに参加しながら、ファシリテーターとしての基本的な役割や講師が経験から得たアイデアなど、多くのことを学びました。

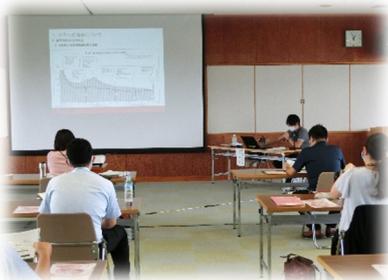


【午後の研修】

○ とちぎ県政出前講座「地域における子育て支援」

栃木県保健福祉部こども政策課 主査 神地 匡 氏

我が国と本県の少子化の状況、出生数と合計特殊出生率の推移、今後の人口の見通しなどについて、「とちぎの子ども・子育て支援条例」や「とちぎ子ども・子育て支援プラン（2期計画）」に基づいて説明がありました。また、条例やプランの内容を理解することで、本県の子育てに関する基本理念、計画的に推進される各種施策の概要、各市町に設立されている子育て世代包括支援センターなどについて学びました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・教育事務所担当者のファシリテーターがとても良かったです。説明もわかりやすく、学ぶことが多かったです。
- ・ファシリテーターは、参加者が不安にならないように気を配り、誰もがリラックスした雰囲気づくりや言葉かけをすることが大切だと思いました。
- ・演習では、和やかな雰囲気を作ってください、ファシリテーターが場の雰囲気をつくることの大切さを学びました。
- ・ファシリテーターとして、基本的要素を学ぶことができ、自分のものとして役立てることができるようになりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp